

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26-1-038
補助事業名 平成26年度 引きこもり・不登校に対する支援活動 補助事業
補助事業者名 公益社団法人 青少年健康センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

この事業は、引きこもり状態の若者達が当法人の活動を通し、引きこもり状態から抜け出し、社会への再参加を果たせるよう支援することを目的としています。

(2) 実施内容

ア・引きこもりを対象とした自立支援事業

◎ “茗荷谷クラブ”

“茗荷谷クラブ”は、引きこもりや発達障害等の若者達の居場所として、新しい人間関係の中で自信を取り戻すことを目指し、原則週3回活動しています。20代～50代のメンバー達が、臨床心理士等の資格を持つケアスタッフの下で、アサーション、コラージュ、ディスカッション、ゲーム、スポーツ・一泊旅行等の活動を年間142回開催。参加メンバー数は延2,152名。



◎ “若者オーパングループ”

引きこもりから再就学、就労の第一歩を踏み出した当法人デイケア活動のOB達が、月に1、2度参集し、ディスカッション・交流を通し、社会参加の定着と脱落を予防する“若者オーパングループ”は、ベテランカウンセラーのオーガナイズの下で年間15回開催。参加メンバー数は延63名。

イ・社会参加支援プログラム開催事業

当法人のデイケアメンバー達、数名を1グループとし、ベテランケアスタッフの指導下で、都心部のオフィスビル内の清掃業務を遂行する職業体験を通し、社会参加への道筋を探りました。実施回数11回、参加メンバー数は延43名。

ウ・思春期カウンセリング講座

引きこもりの子供をかかえる親や家族、支援者、一般の方も対象とし、思春期、青年期の若者の問題行動について知識を深める各種講座を開催しました。

・基礎講座：藤堂宗継先生(臨床心理士)を講師に迎え、前・中・後期各5回開催、通期6名が受講。

・理論講座

前期：『パーソナリティと感情表現』は、藤堂宗継先生(臨床心理士)を講師とし5回開催、延31名が受講。



中期：『“ひきこもり家族”のライフプラン2』をテーマに畠中雅子先生(ファイナンシャルプランナー)を講師とし2回開催、延40名が受講。

後期：『発達障害が疑われる青年の社会適応』は、大島朗生先生(東京福祉大学心理学部講師、臨床心理士)を講師とし3回開催、延30名が受講。

・特別講座

中期：『子どもの自尊感情といのちの教育』をテーマに、近藤卓先生(山陽学園大学人間学部生活心理学科教授、日本いのちの教育学会会長・当法人理事)を講師とし、3回開催、延21名が受講。

後期：『聴き方訓練』は、大塚芳子先生(異文化間カウンセリング研究所所長)を講師とし1日集中講座として開催、18名が受講。

	
“ひきこもり家族”のライフプラン2	発達障害が疑われる青年の社会適応

エ. 講演会・シンポジウム

平成26年10月12日、筑波大学・東京キャンパス講義室を会場に、「よく分かる発達障害」をテーマに、斎藤環先生(筑波大学教授、医学博士、当法人参与)が発題講演を行い、3人の実際の現場で支援活動に従事されている先生方をシンポジストに迎え、講演会・シンポジウムを開催しました。140名が受講。

当日の内容を抄録した小冊子「よく分かる発達障害」を頒布しました。

		
講演会・シンポジウム	講演会・シンポジウム	講演会・シンポジウム

(別紙5)

2 予想される事業実施効果

引きこもり本人にはデイケアや職場体験、親や家族の方には各種講座や講演会・シンポジウムと、それぞれの立場、状態やステップに合った活動を提供することが出来ました。

これにより、引きこもり本人は、家族や周囲の人々から理解を得られ、コミュニケーションもスムーズになり、落ち着いた状態で社会と繋がっていく為の道筋を考えていくことが出来たと考えます。

また、引きこもりや発達障害等、思春期、青年期の若者達の支援活動に従事する支援者、一般の方達に対しても、知識の普及啓発を行ったことにより、より広く問題提起が出来たものと考えます。

3 本事業に係る成果物

(1)補助事業により作成したもの

受講生募集案内、PR用ちらし5種類

講演会・シンポジウムを抄録した小冊子 青健シリーズ26「よく分かる発達障害」

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益社団法人 青少年健康センター

(コウエキシャダンホウジン セイショウネンケンコウセンター)

住 所： 〒112-0006

東京都文京区小日向4-5-8 三軒町ビル102

代 表 者： 会長 齋藤 友紀雄 (カイチョウ サイトウ ユキオ)

担 当 部 署： 事務局 (ジムキョク)

担 当 者 名： 鈴木 隆之 (スズキ タカユキ)

電 話 番 号： 03-3947-7636

F A X： 03-3947-0766

E - m a i l： info@skc-net.jp

U R L： <http://skc-net.jp/>